

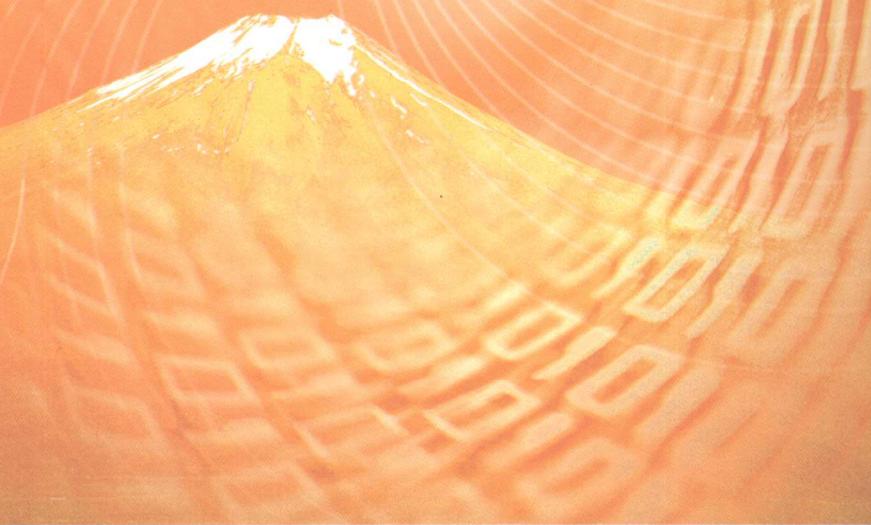
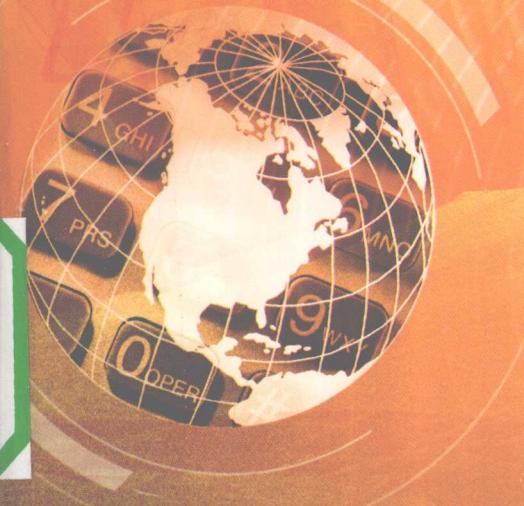
新世纪IT日本语教育推荐教材

IT日本语 教程

实践篇

主编◎王秋菊

INFORMATION TECHNOLOGY



大连理工大学出版社

新世纪IT日本语教育推荐教材

IT日本语 教程

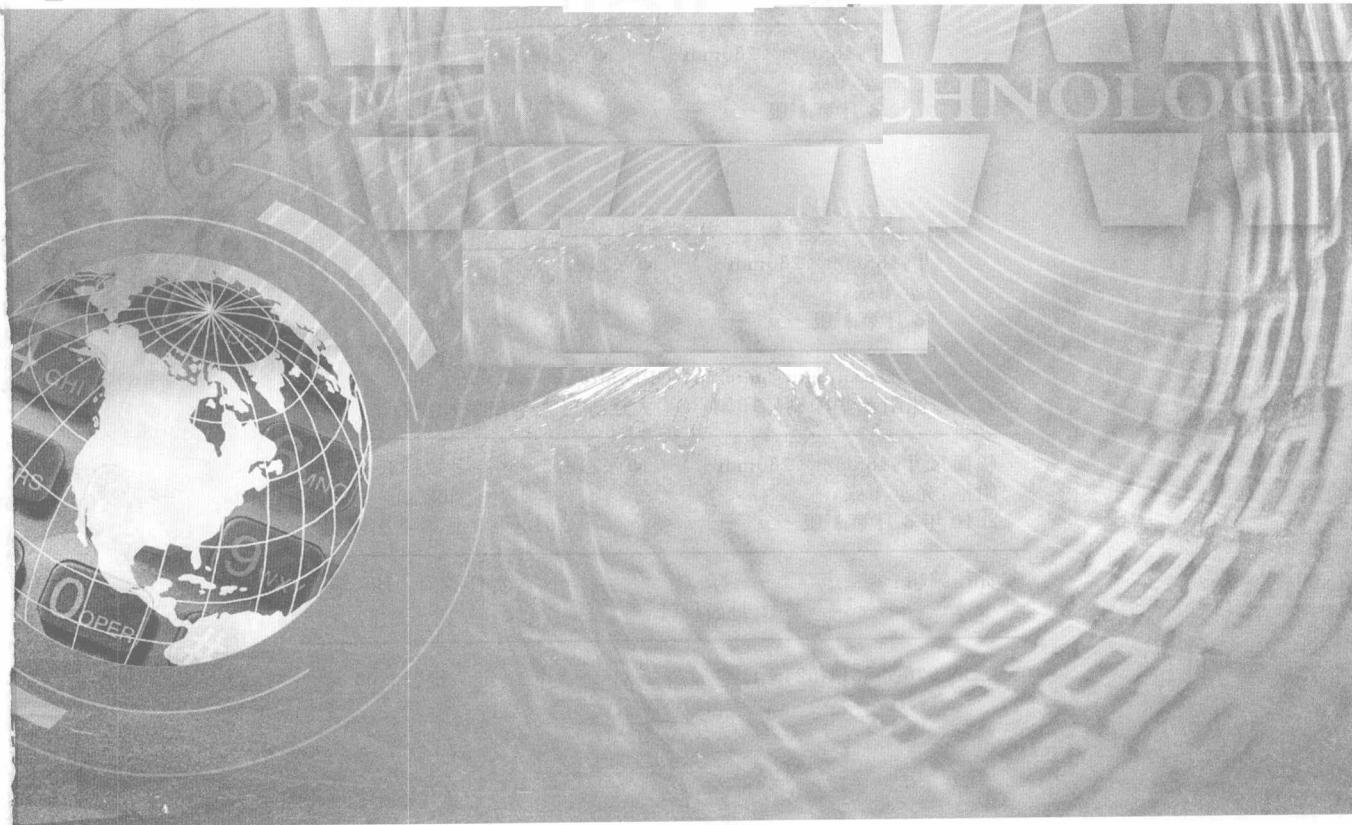
实践篇

主编：王秋菊

副主编：山田高志郎 王

编者：王书睿 李姐

罗琳 马小力



大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

IT 日本语教程. 实践篇 / 王秋菊主编. —大连 :
大连理工大学出版社, 2010. 3
ISBN 978-7-5611-5245-4

I. ①I… II. ①王… III. ①信息技术—日语—教材
IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 235260 号

大连理工大学出版社出版

地址: 大连市软件园路 80 号 邮政编码: 116023
发行: 0411-84708842 传真: 0411-84701466 邮购: 0411-84703636
E-mail: dutp@dutp.cn URL: http://www.dutp.cn
沈阳新华印刷厂印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸: 185mm×260mm 印张: 16.5 字数: 350 千字
附件: 光盘 1 张 印数: 1~3000
2010 年 3 月第 1 版 2010 年 3 月第 1 次印刷

责任编辑: 琴 声 责任校对: 孙 忆
封面设计: 季 强

ISBN 978-7-5611-5245-4 定 价: 45.00 元

前 言

近年来，随着中日两国IT技术的迅猛发展，双方在计算机软件、硬件开发、程序外包等众多方面的交流与合作十分活跃，社会对IT日语人才的需求正在急剧增加。然而，由于IT日语教育尚未成熟，无论是IT日语人才的培养模式还是IT日语的教学方法及其内容都远不能适应IT行业的迅猛发展。而国内关于IT日语方面的教材更显匮乏。为填补这一空白，满足当今社会的需求，我们编写了这套“IT日本语教程”，并希望以此为契机，确立IT日语教育的基础。

本套教材分为“基础篇、实践篇”两册。完成“基础篇”的学习者，可以达到日语能力测试三级的水平；完成“实践篇”的学习者，可以达到日语能力测试二级、一级的水平。本套教材既适用于高等学校计算机专业学生的日语学习，也适用于日语专业学生、IT领域相关人员以及日语爱好者的业余学习。

《IT日本语教程——实践篇》为《IT日本语教程——基础篇》的续篇，课文的设计十分独到。它以日本企业的面试活动及日本商场开设面向中国市场的网络商店为背景，会话场面设定在IT领域的实际工作场景中，围绕着主人公“沈阳辉”的工作成长历程，以故事形式将情节展开，进而达到学习和掌握IT日语的目的。每个单元内容均以“流水型”方式展开，这种方式在IT领域中被称为“流水型”作业。在兼顾语言知识、文化要素的同时，侧重实战演练、应用技能。因此，“实践篇”与“基础篇”互相呼应，构成有机整体，更具实际的使用价值。

“实践篇”根据主题设计成5个单元，每单元又由5课组成：

第1单元——新人SEの誕生（介绍求职、商务礼仪及部门分配等内容）；

第2单元——ユーザー応対と上流工程（接受订单之前的前期工作）；

第3单元——開発（1）方針決定と開発」（对程序研发团队进行内部分工，设定程序研发场景）；

第4单元——開発（2）テストと報告（介绍各种测试与报告的撰写）；

第5单元——運用開始、保守、アフターサービス（介绍程序运行、维护及售后服务

等后期工作）。同时，每单元末都有“読み物”相关内容的链接，旨在通过对日本的IT行业状况的介绍扩大学习者的视野，并帮助其树立一定的学习目标和远大理想。

“实践篇”课文版块如下：

“本文”部分以典型会话为主，内容包括每课需要掌握的语法重点及口语中的惯用表达等知识点。会话表现形式区别于以往的教材，主要以IT日常业务中常用口语为主，使学习者有身临其境之感。

“新しい言葉”部分共收录词汇700余个，学习者可利用本教材配制的MP3来对照单词的声调和发音细节，以此提高学习效率。

“文型・文法”部分共收录语法项目170余项。

“練習、練習答案”部分进一步强化了每课所学的句型和语法。其中，“練習”通过“表达练习”、“听力练习（口译和归纳）”、“翻译（作文）”以及“会话练习”等形式对每课所学内容进行归纳，从而提高学习者的日语综合运用能力。为方便学习者自学和复习，在每课的“練習答案”之后还附有正文的中文译文。

“コラム”的设计则是对课文信息和相关背景知识的介绍与补充。

同“基础篇”一样，“实践篇”也配有MP3，录制了所有课文的“正文”、“新单词”、“听力练习”等内容，除了能提高学习者的听力水平，对其口语水平的提高也有所帮助。MP3光盘由日籍专家录制，学习者通过模仿MP3的语音、语速、声调、感情色彩及呼吸的位置等，可以掌握纯正、地道的日语。

此外，教材后设计了三个附录：(1)“实践篇”中出现的“新单词汇总”；(2)“基础篇”和“实践篇”所包含的句型和语法的索引；(3)“IT用语集”，学习者可将其作为词典来使用。

《IT日本语教程——实践篇》由东北大学外国语学院王秋菊教授担任主编；王岩副教授及日语教育专家、具有IT行业工作经验的山田高志郎共同担任副主编；编者由东北大学软件学院的王书睿、李姐和东北大学外国语学院日语系的姜晓红、罗琳、马小力、李宗鹏组成。

本套教材的出版，得到了大连理工大学出版社刘宪芹女士的大力支持，在此深表谢意。

编 者

2009年冬月于沈阳



はじめに

前世紀の終わりから、情報技術の進歩とそれを受け入れる社会整備が急速に発展してきました。実社会で渴望されていながら、いまだにIT日本語教育は独自分野として自立するに至っていません。IT業界の目覚しい発展に対して、もちろん日本語教育界の未熟さもありますが、むしろIT日本語の表現自体が固まっていたことも大きな要因でしょう。このような状況下において、本書が21世紀初頭から前半にかけての社会需要に応えるべく、IT日本語教育の基礎を確立していく契機となっていくことを期待してやみません。

本書は『IT日本語教程 [基礎編]』の続編であり、日本語初級レベルの既習者を対象としています。初級の復習やまとめも含めた中・上級学習者向けにレベルを設定しています。主人公である瀧 陽輝の成長を描くストーリーとともにIT日本語を学んでいきます。日本国内の企業への就職活動から、日本のデパートの中国向けネットショップ構築を背景に展開されます。IT業界の仕事の進め方で主流であるウォーター・フロー型開発の流れで話題が進みます。そのため、より実務を実感しやすくなっています。

本書はテーマによって、unit1～5に分かれています。各ユニットは5つの課で構成されています。unit1は就職活動からビジネスマナーの習得、配属までを描く「新人SEの誕生」、unit2は新事業受注までの上流工程である「ユーザー応対と上流工程」です。unit3「開発(1) 方針決定と開発」では、システム構築グループ内の役割分担から開発場面を設定しました。unit4は「テストと報告」と称し、各種のテストおよび報告を扱っています。そして、unit5は「運用開始、保守、アフターサービス」をテーマにしています。また各ユニットの最後に、日本のIT事情を紹介する「読み物」を用意しました。学習過程での夢や希望の形成などでご参考になればと思います。

各課は主に次のような構成になっています。「本文」は、それぞれの課で学ぶ事項を含む会話文を中心としています。本書の会話表現は、従来の教科書には見られなかった実際の日常業務で使用される話ことばを多用し、臨場感を増した表記を採用しました。

「新しい言葉」では700語余りを収録しました。付属のMP3でアクセントなど、発音の細部までチェックしていただくと、学習効率が更に上がるでしょう。「文型・文法」は、

170余りの項目を収録しました。「練習」、「練習答案」では、各課で学んだ文型や文法を確認できます。また「練習」には、「表現練習」、「聞き取り練習(通訳や要約)」、「翻訳(作文)」および「ロールプレイ」などで各課の学習事項をまとめ、実際に運用できるようにしてあります。「訳文」、「練習答案」では独学や復習もしていただけるように中国語の翻訳文を掲載しました。加えて、「コラム」で追加情報や背景情報も学べます。

付属のMP3には、『IT日本語教程 [基礎編]』と同じく、各課の「本文」、「新しい言葉」、「聞き取り練習」が録音されています。聞くためだけでなく、話す練習にも役立てていただきたいと思います。MP3で流れる音声は「母語話者の日本語」です。スピード、声の高さや色、呼吸の位置など、全く同じように話す練習をしていただくと、「母語話者と同じ日本語」が話せるようになるでしょう。スクリプトを見ながら「母語話者と同じ日本語」が話せるようになれば、自然と聴力も高まってくるでしょう。

また巻末には、『IT日本語教程 [実践編]』で取り上げた「新しい言葉」、『IT日本語教程 [基礎編]』と『IT日本語教程 [実践編]』で扱った「文型・文法」の「索引」、および付録として「IT用語集」を載せてあります。ちょっとした辞書代わりとしてもご活用いただけすることでしょう。

IT業界での実務場面を設定した本書を下に、IT日本語の「聞」、「話」、「読」、「書」の4技能をバランス良く高めていただきたいと思います。本書の登場人物はBSEとして外国で生活し、活躍しています。このような人材には、とても高い需要があります。本書を手にIT日本語を学ばれるみなさんの中から一人でも多く、近い将来BSEとして「中国と日本」そして「アジア」のみならず、広く「世界」に貢献する人材として社会に巣立っていかれることを期待しています。

本書の編集チームは東北大学 外国語学院の王 秋菊 教授、王 岩 准教授、同学院の日本語教育専門家で、IT業界での勤務経験もある山田 高志郎、同大学 ソフトウェア学院の王 書睿、李 姐 および 同学院 日本語学部の姜 晓紅、羅 琳、馬 小力、李 宗鵬で執筆・編集・校閲を行いました。また、本書は編集チームの勤務先で実際に授業で使用し、改良を加えつつもので前篇の『IT日本語教程 [基礎編]』を既習した学習者には独力で日本語学習を続ける場合の教材としても役立てていただくことを狙っています。

『IT日本語教程 [基礎編]』に続いて『IT日本語教程 [実践編]』が出版に至りましたのも、大連理工大学出版社の 劉 憲芹 女史の多大なるご尽力によるものです。この場をお借りして感謝申し上げます。

IT日本語教程 実践編 編集チーム
2009年瀋陽にて

登場人物

名前	姓	名	年齢	性別
秋田 愛子	あきた	あいこ	48	女性
NEBシステムアンドサービス株式会社 人事部長				
瀧 陽輝	シン	ヨウキ	23	男性
NEBシステムアンドサービス株式会社 期待の新入社員 後に開発第3事業部にSEとして配属される				
長野 朋美	ながの	ともみ	25	女性
NEBシステムアンドサービス株式会社 人事部社員				
山口 友和	やまぐち	ともかず	51	男性
NEBシステムアンドサービス株式会社 社長				
渋谷 徹子	しぶや	てつこ	45	女性
NEBシステムアンドサービス・システム株式会社 開発第3事業部のPM				
福岡 友里	ふくおか	ゆり	31	女性
NEBシステムアンドサービス株式会社 人事部人材開発課 講師				
岡山 聰	おかやま	さとし	48	男性
和平デパート 営業部 e-コマース課 課長				

宮崎 直美 みやざき なおみ 26 女性
NEBの競合他社である株式会社JTT 営業担当

連 海 レン カイ 29 女性
NEBシステムアンドサービス・システム株式会社 開発第3事業部 先輩SE

秦 長春 シン チョウシュン 38 男性
NEBシステムアンドサービス・システム株式会社 開発第3事業部 上級SE

斎 燕 サイ エン 27 女性
NEBシステムアンドサービス・システム株式会社 開発第3事業部 先輩SE

石川 弘樹 いしかわ ひろき 42 男性
和平デパート営業部 e-コマース課 技術担当

香川 真佐子 かがわ まさこ 37 女性
和平デパート営業部 e-コマース課 仕入れ・販売担当

福島 千恵 ふくしま ちえ 28 女性
NEBシステムアンドサービス・システム株式会社 開発第3事業部 先輩SE

新人A 23 男性
NEBシステムアンドサービス株式会社 新入社員

新人B 25 男性
NEBシステムアンドサービス株式会社 新入社員

新人C 23 男性
NEBシステムアンドサービス株式会社 新入社員

目 次

前言

はじめに

目次

Unit 1

新人SEの誕生

1

第1課	面接試験	2
	コラム 面接対策	14
第2課	空港で出迎えを受ける	15
第3課	入社挨拶	24
第4課	新人教育	32
	コラム ホウ・レン・ソウ	40
第5課	配属決定	41
	コラム 謝罪	48
読み物1	日本のIT業界(一)	49

Unit 2

ユーザー応対と上流工程

51

第6課	電話の応対	52
	コラム 電話応対マナー・電話メモのポイント	60
第7課	訪問	61
	コラム 名刺交換	68
第8課	コンサルタント	69
第9課	提案書作成	77
	コラム 近頃、IT業界でもよく目にするISO	86
第10課	受注処理	87
	コラム 日本の元号と西暦	92
読み物2	日本ITの業界(二)	93

Unit**開発(1)方針決定と開発**

95

第11課	仕様書作成	96
	コラム 日本の残業事情（一）	102
第12課	概要設計と詳細設計	103
第13課	チーム会議	110
第14課	進捗状況の説明	117
	コラム 日本の残業事情（二）	123
第15課	仕様変更	124
読み物3	コンピューター・ソフトウェア技術者の分類	130

Unit**開発(2)テストと報告**

133

第16課	単体テスト	134
	コラム 単体テスト仕様書	139
第17課	単体テスト報告書	140
	コラム バグはなくならない？	146
第18課	結合テスト	147
第19課	デバッグ完了報告とシステムテスト計画	153
第20課	システムテスト	159
読み物4	ITスキル標準と情報処理技術者試験	165

Unit**運用開始、保守、アフターサービス**

167

第21課	マニュアル作成	168
	コラム マニュアルは会社とあなたを救う…！？	174
第22課	オペレーションデモ	175
第23課	システムのインストール準備	186
第24課	システムのインストールと業務完成報告	195
第25課	苦情処理、修正とバージョンアップ	205
	コラム 苦情処理の意義と対応	213
読み物5	中国オフショア開発とアウトソーシングの可能性	215
付録一	文型・文法	217
付録二	新しいことば	229
付録三	IT用語集	239

Unit

11

新人SEの誕生

第1課

面接試験

第2課

空港で出迎えを受ける

第3課

入社挨拶

第4課

新人教育

第5課

配属決定



第1課

面接試験



[瀧が面接室のドアをノックする]

秋田：どうぞ。

瀧：失礼します。よろしくお願ひします。

秋田：お掛けください。

瀧：失礼します。

秋田：まず、自己紹介をお願いします。

瀧：はじめまして。瀧 陽輝と申します。

私は4年前の9月に東北科技大学のコンピュータ・サイエンス学部に入学しました。専攻はソフトウェア・エンジニアリングでしたが、幸運にも2年生の時に第二外国語として日本語コースが新設され、日本語を習い始めました。昨年の12月に日本語能力試験2級に合格しました。4年生の時に三好有限公司でインターンシップとして、ネットショッピングプロジェクト開発に携わりました。先輩からいろいろ教えていただいたおかげで、新しい知識と技術を身につけ、短期間で成長していることを実感しました。そのため、これまで身に付けた専門知識と経験を活かしながら、e-コマースの分野をリードしてきた御社でチャレンジしてみたいと思っております。

秋田：在学中に取得した資格や免許を教えてください。

瀧：JAVA認定試験のSJC-P、Linux認定資格に関連するRHCE、そして先程申し上げました日本語能力試験2級に合格しました。また、普通自動車免許も取得しました。



秋田：インターンシップでネットショップ・プロジェクトの開発経験があるとのことでしたが、担当した業務内容を、もう少し詳しく説明してくれませんか。

瀧：受発注システムの構築・保守を行いました。お客様のご要望を伺い、新しいシステムの設計・構築をしました。また、システムテスト、運用中のトラブル対応など、保守作業にも携わりました。

秋田：開発言語は主に何を使っていましたか。

瀧：主にJavaを使っていました。

秋田：そうですか。うちでもJavaの仕事が多いですよ。では、どんなデータベースに詳しいですか。

瀧：大学時代にMySQLを履修しましたので、MySQLに自信があります。ただし、三好有限公司ではOracleを使っていたので、今は独学しています。

秋田：なるほど。うちの会社で働くなら、Oracleも使えるようにしておいたほうがいいですよ。

瀧：はい、頑張ります。

秋田：では次に、よいシステムを作るのに大切なものは何だと思いますか。

瀧：今まで担当したプロジェクトを通じて、コミュニケーションの大切さを感じました。最初にユーザーのニーズを十分に理解しないと、ユーザーの狙いとかけ離れたシステムを開発してしまいます。それで、大幅な修正作業をしたことがありました。このようなことを防ぐには設計開始段階においても、設計途中においてもユーザーと十分に話し合い、双方が頭に描く内容に食違いがないことを確認しなければなりません。また、よいシステムを作るにはチームワークも欠かせないものだと思います。開発チーム内でコミュニケーションがスムーズにとれていなければ、仕事もなかなかうまく行かないでしょう。

秋田：なぜ日本で就職しようと思ったんですか。

瀧：そうですね。子どものころから日本のアニメが大好きでした。ちょうど大学時代に日本語コースが新設されたので、日本語を熱心に学びました。大学でソフトウェア・エンジニアリングを専攻していた私は習得した専門知識と日本語を活かし、将来国際的に活躍できるBSEになりたいと考えるようになりました。そのため、20代の



うちに日本で働くことはもちろん、生活も経験しておきたいと考えたからです。

秋田：当社を希望した理由は何ですか。

瀧：先程申し上げたように、インターンシップでネットショップ・プロジェクトの開発、テスト、運用、保守に携わる中で、商品取引システムの構築に大変強く興味を持ちました。そのため、御社のe-コマース・プロジェクトに注目するようになりました。また、先輩から御社の人材育成制度はすばらしいとお聞きしていることも志望理由の一つです。もし御社で力を発揮させていただくことになれば、御社と共に私自身もSEとしてどんどん成長していくけるものと確信しております。

秋田：わかりました。では、面接はこれで終わります。結果は今週中に電話で連絡します。お疲れさまでした。

瀧：ありがとうございました。では、失礼いたします。

新しい言葉 →

応募者 (おうぼしや) ③

[名] 应聘者

ノック (knock) ①

[名・他サ] 敲门

掛ける (かける) ②

[他下一] 坐

申す (もうす) ①

[他五] (谦) 说；叫做；告诉

コンピュータ (一) ・サイエンス (computer science) ③+①

[名] 计算机科学

学部 (がくぶ) ⑩

[名] 院；系

コース (course) ①

[名] 课程；学科

新設 (しんせつ) ⑩

[名・他サ] 新设

合格 (ごうかく) ⑩

[名・自サ] (考试等) 合格

インターンシップ (internship) ⑥

[名] 实习

ネットショップ・プロジェクト (netshop project) ⑩+③

[名] 网上购物项目

携わる (たずさわる) ④

[自五] 参与；从事

身につける (みにつける) ⑩+②

[连語] 掌握

短時間 (たんじかん) ③

[名] 短时间

成長 (せいちょう) ⑩

[名・自サ] 成长；成熟

実感 (じつかん) ⑩

[名・他サ] 体验

e-コマース (e-commerce) ④

[名] 电子商务

リード (lead) ①

[名・自他サ] 领导；领先

御社 (おんしや) ①	[名]	贵公司
チャレンジ (challenge) ②①	[名・他サ]	挑战
担当 (たんとう) ①	[名・他サ]	担当
業務 (ぎょうむ) ①	[名]	业务；工作
受発注システム (じゅはつちゅう system) ②+①	[名]	订购，接受订购系统
構築 (こうちく) ①	[名・他サ]	构筑
保守 (ほしゅ) ①	[名・他サ]	维护
要望 (ようぼう) ①	[名・他サ]	要求；期望
伺う (うかがう) ①	[他五]	(谦)听说； 请教；拜访
稼動テスト (かどう test) ①+①	[名]	运行测试
運用中 (うんようちゅう) ①	[名]	运行中
トラブル (trouble) ②	[名]	纠纷；问题
対応 (たいおう) ①	[名・自サ]	相应措施
作業 (さぎょう) ①	[名・自サ]	作业；操作
データベース (data base) ⑤	[名]	数据库
履修 (りしゅう) ①	[名・他サ]	(必修课程) 学完
MySQL (マイ・エスキューエル) ①+①	[名]	数据库的一种
Oracle (オラクル) ②	[名]	甲骨文
ニーズ (needs) ①	[名]	需求
狙い (ねらい) ①	[名]	目标；目的
かけ離れる (かけはなれる) ⑤⑥	[他下一]	离得很远
大幅 (おおはば) ④①	[形動]	大幅度
修正 (しゅうせい) ①	[名・他サ]	修改，改正
防ぐ (ふせぐ) ②	[他五]	预防
途中 (とちゅう) ①	[名]	中途
食い違い (くいちがい) ①	[名]	分歧
チームワーク (team work) ④	[名]	团队合作
欠かす (かかす) ①	[他五]	缺少
スムーズ (smooth) ②	[形動]	顺利
うまい②	[形]	顺利
熱心 (ねっしん) ③①	[形動]	热心；热情
習得 (しゅうとく) ①	[名・他サ]	学会
活かす (いかす) ③①	[他五]	有效地利用；发挥
BSE (bridge system engineer)	[名]	桥梁工程师
目指す (めざす) ②	[他五]	指向；以……为目标
当社 (とうしゃ) ①	[名]	我们公司
希望 (きぼう) ①	[名・他サ]	希望
理由 (りゆう) ①	[名]	理由

申し上げる（もうしあげる）⑤⑥	[他下一]	(谦)说 (まことひ)
商品取引システム（しょうひんとりひきsystem）⑩+①	[名]	商品交易系统 (しょうひんとうりひき)
注目（ちゅうもく）⑩	[名・自他サ]	关注
人材育成（じんざいいくせい）⑤	[名]	人才培养
発揮（はつき）⑩	[名・他サ]	发挥
どんどん①	[副]	迅速
確信（かくしん）⑩	[名・他サ]	确信

文型・文法 →

一、てくれませんか/てもらえませんか

【接续】动词连用形+てくれませんか/てもらえませんか

【解说】用来表示请求别人进行某行为。如果对方身份、地位低于自己，而且是比较亲密的人，则用简体形式「てくれる？/もらえる？」、「くれないか/てもれないか」、「くれない？/もらえない？」，如果对方身份、地位高于自己或者在正式场合，应使用敬体，表示礼貌的请求或提醒别人。如：「てくださいませんか/ていただけませんか/ていただけませんでしょうか/ていただけないでしょうか」。注意：为了表示对别人的请求，使用「もらう/いただく」时，要用其可能形「もらえる/いただける」。

- ▲ すみませんけど、ちょっと静かにしてくれませんか。今、会議中なんです。/对不起，稍微安静一下好吗？现在正在开会。
- ▲ ちょっとこの書類、ミスがないかどうかチェックして下さいませんか。/你帮我检查一下，看看这份材料有没有错。
- ▲ ここは事務室なんですから、タバコは遠慮してもらえませんか。/这里是办公室，别吸烟好吗？

二、目的「のに」と「には」、「ために」と「ように」

【接续】动词简体形 +のに
 动词终止形 +には
 体言+の/ 用言连体形+ために
 动词终止形 +ように